2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社SQUEEZE	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	558A	URL	https://squeeze-inc.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役CEO	（氏名）	舘林　真一
問合せ先責任者	（役職名） 取締役CFO	（氏名）	安養寺　鉄彦　(TEL) 03(6455)4721
配当支払開始予定日	ー		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,433	ー	665	ー	668	ー	394	ー
2025年12月期第３四半期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　396百万円（　　ー%）　2025年12月期第３四半期　ー百万円（　　ー%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	125.12	112.10
2025年12月期第３四半期	ー	ー

（注）１．当社は、2025年12月期第３四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年12月期第３四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年12月期第３四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
２．当社は、2026年１月６日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しています。
３．当第３四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、当社株式が2026年４月22日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から当第３四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,418	2,472	45.6
2025年12月期	4,302	1,480	34.4

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　2,469百万円　　2025年12月期　1,479百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	ー	ー	0.00	0.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,034	31.0	705	37.9	700	32.9	513	△16.7	161.52

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

２．当社は、2026年１月６日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っています。2026年12月期の業績予想における１株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しています。
３．１株当たり当期純利益は、2026年４月21日を払込期日とする公募増資(50,000株)、2026年５月25日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資(150,100株)及び2026年９月30日現在までに行使された新株予約権(21,600株)を含めた予定期中平均株式数により算定しています。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　３社（社名）　司貴吉智慧旅宿股分有限公司、株式会社SQUEEZE Next Partners、SQUEEZE Smart Hospitality Thailand Co., Ltd.

除外　　ー社（社名）

（注）詳細は、添付資料P.６「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ.６「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,267,500株	2025年12月期	3,045,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	ー株	2025年12月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,152,969株	2025年12月期３Ｑ	ー株

（注）１．当社は、2025年12月期第３四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載していません。

２．当社は、2026年１月６日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。

詳細については、添付資料Ｐ.２「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、本四半期決算短信とあわせて、第３四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書 …… 4
第３四半期連結累計期間 …… 4
四半期連結包括利益計算書 …… 5
第３四半期連結累計期間 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（重要な後発事象） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は、前第３四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。ただし、当社グループの業績推移をご理解いただくためのご参考として、前連結会計年度の四半期業績の概要を決算補足説明資料に記載しておりますのでご参照ください。

当第３四半期連結累計期間においては、グローバルな観光需要の着実な成長や賃上げなどの雇用・所得環境の改善により、緩やかな成長基調となりました。一方、米国の外交政策に関する不確実性や海外情勢の不安定化、インフレによる先行きの不透明さは継続しております。当社グループのメイン事業であるホテル業界においては、円安を背景としたインバウンド需要の拡大が継続しております。日本政府観光局の訪日外客統計によると、訪日外国人数は2025年通年で42百万人（前年比15.8%増）、2026年１月から９月までの期間においても30百万人に達し、引き続き強い需要を維持しております。

このような事業環境の中、当社グループは、ホテルの価値や生産性、ゲスト体験向上のため、自社で開発するクラウド宿泊運営システム「suitebook」の機能改善を継続的に行っております。また、前連結会計年度に引き続き、運営施設数の拡大を推し進めました。当第３四半期連結累計期間においては、福岡エリア初出店となる「Minn 博多 Station East」および「Minn 難波 South」をオープンし、フル支援での施設数は、前連結会計年度末より２施設増の43施設となりました。また、テクノロジー支援として、引き続きホテルチェーン事業者への導入を推し進めるとともに、昨今の情勢を踏まえ、セキュリティ強化を行いました。

以上の取り組みの結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高5,433,001千円、営業利益665,849千円、経常利益668,992千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は394,497千円となりました。

なお、当社グループは、スマートホテル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,116,633千円増加し、5,418,727千円となりました。これは主に売掛金が162,676千円、未収入金が124,777千円減少したものの、現金及び預金が1,378,102千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ124,706千円増加し、2,946,552千円となりました。これは主に長期借入金が213,147千円減少したものの、流動負債のその他が191,622千円、未払法人税等が180,658千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ991,926千円増加し、2,472,174千円となりました。これは主に公募増資等により資本金が294,327千円、資本剰余金が300,322千円増加したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益394,497千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想については、2026年４月22日付で公表しました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の内容から変更はありません。

なお、当該業績予想は、当社が本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,586,953	3,965,055
売掛金	456,341	293,665
契約資産	4,805	―
未収入金	561,517	436,739
商品	12,501	3,300
仕掛品	6,483	17,533
その他	75,185	128,402
貸倒引当金	△31	△27
流動資産合計	3,703,757	4,844,669
固定資産		
有形固定資産	26,410	43,683
投資その他の資産	571,926	530,373
固定資産合計	598,336	574,057
資産合計	4,302,093	5,418,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,744	6,094
１年内返済予定の長期借入金	260,986	284,196
未払金	883,597	847,585
未払法人税等	7,383	188,042
その他	416,456	608,079
流動負債合計	1,596,167	1,933,996
固定負債		
長期借入金	1,224,067	1,010,920
資産除去債務	1,611	1,635
固定負債合計	1,225,678	1,012,555
負債合計	2,821,846	2,946,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	394,327
資本剰余金	368,426	668,748
利益剰余金	1,010,948	1,405,446
株主資本合計	1,479,374	2,468,521
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	464	508
その他の包括利益累計額合計	464	508
新株予約権	408	306
非支配株主持分	―	2,837
純資産合計	1,480,247	2,472,174
負債純資産合計	4,302,093	5,418,727

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,433,001
売上原価	2,747,694
売上総利益	2,685,307
販売費及び一般管理費	2,019,458
営業利益	665,849
営業外収益	
受取利息	32,201
為替差益	2,046
持分法による投資利益	1,046
その他	5,765
営業外収益合計	41,059
営業外費用	
支払利息	16,246
上場関連費用	19,389
株式交付費	2,280
その他	0
営業外費用合計	37,916
経常利益	668,992
特別損失	
投資有価証券評価損	115,144
特別損失合計	115,144
税金等調整前四半期純利益	553,847
法人税等	157,517
四半期純利益	396,330
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,497

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	396,330
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	44
その他の包括利益合計	44
四半期包括利益	396,374
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	394,542
非支配株主に係る四半期包括利益	1,832

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前第３四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、スマートホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年４月22日に東京証券取引所グロース市場に株式上場いたしました。

この株式上場にあたり、2026年４月21日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行(普通株式50,000株)を行いました。それに合わせて株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式(普通株式150,100株)の発行を行い、2026年５月25日に払込が完了いたしました。

また、2026年４月23日、６月22日及び９月11日を期日とする第５回新株予約権の行使、2026年５月21日、８月19日、８月26日、８月27日及び９月29日を期日とする第６回新株予約権の行使、2026年９月11日を期日とする第７回新株予約権の行使により、新株式（普通株式21,600株）の発行を行いました。

この結果、当第３四半期連結累計期間において資本金が294,327千円、資本剰余金が300,322千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が394,327千円、資本剰余金が668,748千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第３四半期連結累計期間において、司貴吉智慧旅宿股份有限公司、株式会社SQUEEZE Next Partners及びSQUEEZE Smart Hospitality Thailand Co., Ltd.を新たに設立したため、３社を連結の範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	3,771千円

(重要な後発事象)

（有償ストック・オプション（新株予約権）の発行）

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、会社法第236条、第238条及び第240条の規定に基づき、当社代表取締役に対し、有償ストック・オプションとして第10回新株予約権を発行することを決議いたしました。

割当対象者及び人数：当社代表取締役 1名
新株予約権の数：1,644個（新株予約権1個につき普通株式100株）
新株予約権の払込金額：新株予約権1個当たり100円
行使価額：割当日（2026年11月27日）の東京証券取引所における当社普通株式の終値
行使期間：2028年4月1日から2036年11月27日まで
行使の条件：連結調整後EBITDAに係る業績条件及び株価条件に基づく行使義務を付しております。

詳細につきましては、本日公表の「有償ストック・オプション（新株予約権）の発行に関するお知らせ」をご参照ください。